

会 議 録

会議の名称	第58回静岡市情報公開・個人情報保護審議会
開催日時	令和6年12月20日（金） 午前10時00分から午前11時30分まで
会 場	静岡市役所本館 4 階 44会議室
出席者	1 出席委員（8人／10人） 蒔山会長、小西委員、石川委員、斉藤委員、櫻井委員 田上委員、藤田委員、横澤委員 2 事務局兼実施機関 総務局総務課長 小島憲之 同課主幹兼係長 小泉典子 同課主査 平野玲央 同課主任主事 知久優香 3 傍聴人 なし 4 報道 なし
議題及び 結 論	報告事項 1 （仮称）刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定方針について 2 本審議会部会実施状況について 3 令和5年度における制度運用状況 4 令和5年度の個人情報漏えい事故等
審 議 概 要	1 報告事項 （1）（仮称）刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定方針について 【説明要旨】 実施機関（総務課）が（仮称）刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定方針について報告した。 【意見等なし】 （2）本審議会部会実施状況について 【説明要旨】 会長が令和5年度及び令和6年度の本審議会部会の実施状況について報告した。 【意見等なし】

	(3) 令和5年度における制度運用状況 【説明要旨】 事務局が以下について報告した。 ア 公文書公開請求の件数等 イ 保有個人情報の開示請求の件数等 【発言要旨】 (会長) 令和5年度の公文書公開請求については、非公開決定をしたものが20件以上ありますが、不服申し立てをされた事案はありますか。 (事務局) 公文書公開請求に関する不服申し立てについては、近年相当数提起されています。過年度分を含め、現在は、70件程度が係属中となっています。 (4) 令和5年度の個人情報漏えい事故等 【説明要旨】 事務局が個人情報漏えい事故等の件数について報告した。 【発言要旨】 (会長) ただいまの報告事項について、各委員から御質問等ありますか。 (斉藤委員) 資料4のNo.12「メールのCC送信による個人情報の漏えい」については、全国の商工会議所においても受託事業を実施する中で近年大きな問題となっており、対応を求められることが増えてきたところです。 なお、事案としては、「CCとBCCの誤り」、「ファイルの添付誤り」などヒューマンエラーによるものが挙げられます。 No.12の事案に対する静岡市の対応を見ると、「メールを送信する際に複数人で確認する」、「研修を行った」などと記載がありますが、同様の事案に対し、全庁的に実施している対応策があれば教えてください。 (事務局) 基本的な対策としては、記載のとおり、複数人による確認や所属内での周知、全体の研修の場での事例紹介などにより、再発防止に努めているところです。 なお、個別の事例としては、CC機能を止めてしまうソフトを導入したものがありません。このようなシステムを導入することで、同様の事故は起こりえなくなりますが、相当な費用が生じてしまうことから、全庁的な導入には至っておりません。 また、添付ファイルの取扱いについてですが、他都市においては、ファイルにパスワードを設定した上で、別のメールでパスワードを送付する、ということを徹底している自治体もありますが、本市では統一的な運用はしておりません。 (石川委員) パスワードを別で送付しているところは多いと思いますが、形式的であって、あまり意味がないともよく聞きます。 先ほどの「複数人で確認をする」ということについて、全てのメールの送付時において行うのか、あるいは送付先が複数ある場合に行うのか等、基準はありますか。 (事務局) 初めてメールを送付する相手である場合には、複数人での確認を徹底しています。そのほか、添付資料に個人情報が含まれる場合には、添付資料を複数人で確認するという取扱いが多くされています。 既にメールアドレスを登録していたり、過去に複数回やり取りをしている場合な
--	--

	どには、複数人による確認をしていないことがほとんどかと思ひます。 (藤田委員) 社会福祉関係の部局における事案が多いと感じました。 特に、No. 44の事案については、対策についても多くの項目が挙げられていますが、加害者側に情報が渡っているということは、深刻な問題であり、あつてはならない事例であると思ひます。 この事案に対して、担当部局では、どのように受け止めているのでしょうか。 (事務局) 1 点目に、社会福祉関係の部局における事例が多いという点については、業務として個人情報も多く扱う部局であり、文書の送付等やり取りが多いため、母数の問題もあるかと考えております。 そのような部局においては、毎年度、所属内での周知徹底、研修、OJTなどを実施してはおりますが、依然として発生してしまっている現状です。 2 点目に、No. 44の事案については、事務局としても深刻なものと考えております。 このような事例が毎年発生するかといえば、非常に稀なケースであると考えてはおりますが、本件については、所管課と当課に加え、内部統制を所管するコンプライアンス推進課との協議によって、再発防止のための対策を検討したところです。 先進自治体においては、関係する部局間で、内部システムの統合化が図られており、ある所管部局がDV被害情報を登録することで、他の関係部局においても、情報の取扱いに注意するよう表示がされる、というものもあるようですが、現状として、本市においては、システムの統合が図られていないものと認識しています。 (横澤委員) 私は、DV加害者の更正教育に長年携わっていますが、全国的に、非常にリスク管理が甘いと感じています。 No. 44については、本人に対して転居を勧めた旨の記載がありましたが、引っ越すにしても、市が全てを手配してやってくれるわけではないので、本人からしてみれば、とても簡単にはできないという状況です。 その辺りの事情も含め、特に配慮が必要な情報については、事前に職員間で共有するだけでなく、目立つ色のファイルに入れて保管したり、パソコン上でも誰が見ても注意すべきであることがわかるような形で保管したりすることで、取りこぼしがないように管理してほしいと思ひます。 (櫻井委員) 誤配達(郵便局員による配達先誤り)によるものの中には、「生活保護に関する情報」や「重度心身障害者医療に関する情報」なども見受けられます。 確かに誤配達ではあるのですが、それが漏えいしたことによって、例えば、その地域で生活しにくくなってしまうといったような、本人たちの不利益となってしまうことがあると思ひます。 特に、昨年度については、誤配達による漏えいが、全体の75%を占めているということなので、場合によっては、郵送によらない別の方法がないか、ということも検討した方がよいのではないかと感じました。 (事務局) 生活保護制度に関連して、生活保護受給者が病院に掛かる際に使用する「医療券」をシステムでやり取りができるようにすることで、本人に対して郵送するのではなく、病院に対して直接情報を伝えるということができないか、という検討があるようです。生活保護制度については、国の制度であるため、全国で統一的に進めていくことから、多少時間がかかるころではありますが、そのような取り組みもあるということについては、現場からも聞いています。
--	--

	切り替えが可能なところから何かできないか、ということで検討を行っておりますので、御承知いただければと思います。 (櫻井委員) 事案の中には、同姓同名であることが原因と思われる事案もありました。私は、長く病院に勤めておりましたので、患者さんの中に同姓同名の方がいらっしゃるという場面に直面することがありましたが、病院の場合ですと、薬の投与間違いが起こる可能性が生じてしまうことから、「旗立て」を行うようにしていました。この「旗立て」は、この人とこの人は同姓同名の人なので違う旗を立てるように、住所などの氏名以外の情報を活用することで誤薬が起こらないようにするものですが、このように、何に旗を立てたら間違いが起こらないかということを考え、工夫していただけるとよいかと感じました。 (藤田委員) 本日いただいた資料は、漏えいの発生件数ですので、誤って配送されて、それを開封してしまった、というケースがほとんどだと思います。そうすると、開封せずに、そのまま返送され、送付先に届いているものもかなりあるのではないかと思います。 (田上委員) 起きてしまったことに対し「しょうがない」とするのではなく、どうすれば起きないようにできるかを検討することが大切だと思います。職員の方一人一人が、普段から、大事な情報を預かっているという意識をより持っていただけると、件数も少しは減ってくるのではないかと思います。 (小西委員) すでにほかの委員からも話がありましたが、No. 44の事案は、非常に重大だと感じました。教育長等には報告があったようですが、市長にも報告はあったのでしょうか。 (事務局) こういった事案については、市長部局のコンプライアンス推進課という内部統制を所管する部局に全て報告がされることとなっていますので、その部局を通して市長まで報告がなされているものと考えております。 (小西委員) 事実上被害にあわれた方も情報が広がっていくことを恐れているので、そういった点での注意は必要ですが、事案の性格、今後の対応等を考慮すると、市全体にとって大きな事案だと思いますので、幹部の方にも十分情報を共有しておくことが必要ではないかと思いました。 (会長) 皆様、個人情報保護に関する、多くの御意見をありがとうございました。 (5) 今後のスケジュール 省略 5 その他（各種連絡事項） 省略 6 閉会 (会長) それでは、本日の議事は以上となります。委員の皆様はありがとうございました。
--	---